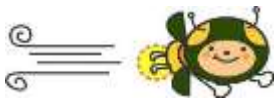


国崎クリーンセンター啓発施設指定管理業務 業務の実施状況及び見学者の状況

(平成 29 年度 概要版)

目次

1. くにつぺからのメッセージ	1
2. 「つながり」を「アクションの輪」へ	2
3. 運営事業の紹介	2
(ア) 学ぶ・知る機会の提供	
(イ) 地域と連携	
(ウ) 広める活動	
(エ) その他	
4. 事業運営体制	11
(ア) 運営体制	
(イ) 職員のスキルアップ	
5. 見学・貸館状況	13
(ア) 見学・出前での利用状況	
(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)	
6. 9年間の人数・売上の推移	15
7. 収支状況	16



1. くにっぺからのメッセージ

第3期指定管理事業（5年間）の初年度である平成29年度は、これまでの8年間で培った地域の皆様とのつながりや様々な運営実績を活かし、第3期のミッションである地域連携を中心に、啓発施設の管理業務及び運営業務共におおむねご提案以上の内容で履行できたものと考えます。施設利用者は、昨年同様に年間3万4千人を超え、10月には開館9年目にして利用者が20万人を突破しました。

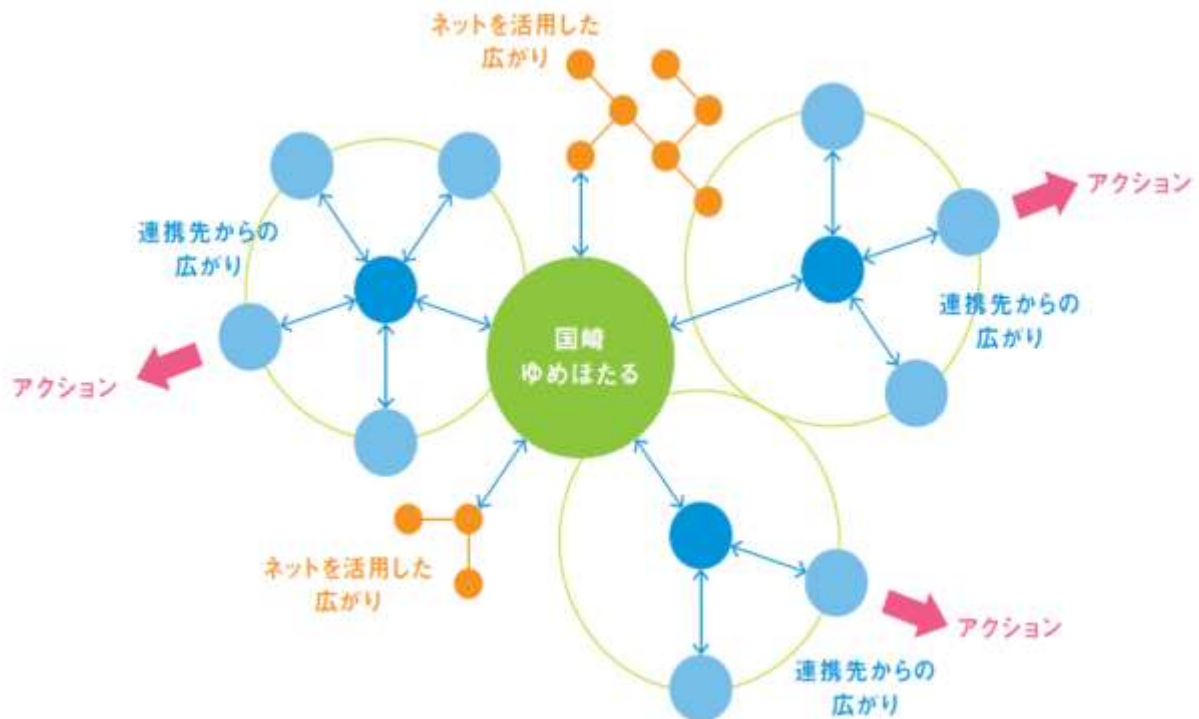
スタッフ一人ひとりが、ご利用者様の思いを大切にし、きめ細やかな対応を心掛けてきました。その成果として、地域の皆さまに親しまれ、施設への期待が高まることを意識し、感謝と共にさらなる事業活動の充実を図りたいと考えています。

今後も、これまで以上に多彩な事業展開において地域の皆様との協働、企業・組織団体との連携を充実させてまいります。そして来館者や地域の皆様のご意見に常に真摯に耳を傾け、体験から“他人事ではなく自分事”へと感じ、それが“行動”へとつながるような啓発事業の促進に、さらなる努力を重ねてまいります。



2. 「つながり」を「アクションの輪」へ

第2期までに得た「つながり」を本施設の目的のために活用します。8年間の実践における「つながり」の成果をさらに深みのある活動へと発展させ、施設組合や構成市町の目標である「ごみ減量化」・「循環型社会形成」へ向けた意識を高める取り組みを実践します。「つながり」の先には、ゆめほたるの啓発活動に資するポテンシャル（技能・能力、製品、サービス、人材等）を持つ個人や団体・組織が数多くあります。そのポテンシャルを本施設との連携の中で再発見していただき、「つながり」の場所において、新たな「ごみ減量化」・「循環型社会形成」へ向けた啓発活動への取り組みを実践していただくほか、情報ネットワーク（facebook 活用、ブログ「ごみ減量アイデア集」情報発信等）も活用し、「ごみ減量化」・「循環型社会形成」へむけた「アクションの輪」を広げることを目指します。



3. 運営事業の紹介



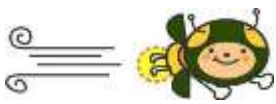
(ア) 学ぶ・知る機会の提供
環境について“学ぶ”機会や場を提供する

団体見学対応・調整

様々な団体の見学を受け入れ、循環型社会構築へ向けたライフスタイルについて一緒に考えました。

- ・見学団体数：71団体、159件（小学校、視察他）
- ・見学オプション：11件、524名
（廃材ワークショップ、里山学習）





企画展示

ロビーや見学通路を利用し、多角的な視点で環境について考えてもらえるよう啓発に努めました。全6件。



エドヒガン林散策ガイド

敷地内の川西市指定文化財「エドヒガン群落」「坑道跡」について、桜の時期にガイドを実施し、地域の貴重な景観を愛でいただく機会を提供しました。

実施期間：4月4日～4月13日

参加者：4日間実施で63名



講演会

講師を招いて、講演会形式で環境に関心のある人や活動を考えている人たちへの情報発信と、必要な情報を入手できるような場を提供しました。

- ① 5/7 「アニメ紙芝居 ひょうごの疏水はぼくたちが守る」メダカのコタロー劇団
- ② 10/7 「兎追いしかの山～里山の過去・現在・未来～」京都府立林業大学 校長 只木良也氏
- ③ 10/28 「猪名川上流域の里山林」兵庫県立大学 教授 石田弘明氏
- ④ 11/5 「紙はごみじゃない」古紙再生促進センター 派遣講師 仲 清次郎氏、阪本 聖健氏
- ⑤ 11/11 「シカの被害から里山を守る」京都大学 講師 高柳 敦氏
- ⑥ 12/2 「救急法」NPO日本森林ボランティア協会 笹智子氏
- ⑦ 12/16 「ナラ枯れから里山を守る」京都府森林技術センター 小林正秀氏
- ⑧ 2/17 「森林資源の利活用」もりの木プロジェクト 山崎 正夫氏

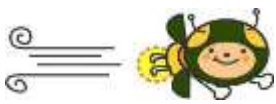


ゆめほたる講師による講座

一市三町に在住または勤務されている方を中心に、本啓発施設で行われるリサイクル系のワークショップ教室でご指導していただく講師を募集・登録し、多くの講師にご活躍いただいています。講師登録者 39名(平成30年3月時点・更新含む)

講座名	回数	参加人数	内容
木工教室	70	375	里山間伐材・廃材・廃家具などを活用し、必要な物へアップサイクル。
椅子の張替え教室	24	47	椅子の座面張替え実習により、モノ大切にする暮らし方を広める。
レザーリメイク	88	563	不用レザー製品から必要な物へアップサイクル。
和布リメイク	27	214	不用なキモノや和布を小物や飾りへアップサイクル。
エコ布ぞうり	8	89	不用衣類を利用して、足にも環境にも優しい布ぞうり作り。
パッチワーク	7	32	技法を習得し、端切れや古布をバッグやタペストリーにアップサイクル。
廃ガラスで遊ぼう、ガラス工芸	28	85	廃ビンをランプや小物にアップサイクル。
エコクッキング／鍋帽子作り	3	13	キッチンからはじめるエコ活動を実践。
廃ビン×間伐端材 de スピーカー	2	23	廃材を利用してアンテナと高感度ラジオを制作。
廃材で三脚作り&星空観望会	1	38	廃材で三脚を作り、望遠鏡を設置して星空観望を楽しむ。
ダンボールコンポスト	1	13	ダンボールコンポストでゴミ減量啓発。
分解ワークショップ	3	62	小型家電を分解し素材ごとに分別します。
巣箱作り	1	7	巣箱作りと里山の野鳥観察。
里山フラワーアレンジメント	12	120	季節の花で環境意識の醸成。
里山ヨガ	23	314	里山を眺めながらのヨガで環境意識の醸成。
親子科学実験教室	2	39	科学実験教室と物づくり。
里山珈琲講座／ 珈琲を楽しむ／珈琲を楽しもう	17	141	里山と珈琲を楽しむ。
イオンチアーズ紙すき絵手紙	1	13	イオンが実施しているこどもたちのエコ学習。
ヒメボタル観察会	1	22	敷地内の里山に棲むヒメボタルを観察する。
	319 件	2210 人	前年度参考 286 件 2,130 人





(イ) 地域と連携

地域と一緒に取り組む

地域と連携し、催事など出向いてごみ減量やリユース活動の他里山の魅力を広めました。

	開催日	連携先	内容
1	4月29日	のせでんレールウェイフェスティバル 2017 春	かえっこバザール
2	5月14日	いながわキッズフェスティバル	かえっこバザール
3	5月20日	さと・ひと・たべるクックオフ 2017 春 in 知明湖キャンプ場	ダッチオープン料理のノウハウと春の里山の楽しみ方を広める
4	7月8日	キセラ川西せせらぎ公園	川西市キセラ川西せせらぎ公園 探索ツアー ガイド
5	8月11日	妙見山 山の日フェスタ	エコアクション宣言でエコの木を作ろう
6	9月3日	阪神北泉民局 地域見本市	パネル展示
7	8月5日	ネイチャーランド KYOEI	天体観望会 in くにさき ～望遠鏡&廃材を使った三脚づくり～
8	9月1日	能勢町 スマイルフェスタ	リサイクルワークショップ、パネル展示
9	9月3日	一庫ダム	行こう！フリマと一庫ダム見学へ
10	9月9日	豊能町 ふれあいのつどい	かえっこバザール
11	10月14日	さと・ひと・たべるクックオフ 2017 秋 in 知明湖キャンプ場	中止 (ダッチオープン料理のノウハウと秋の里山の楽しみ方を広める)
12	10月22日	猪名川町立図書館	映画「0円キッチン」上映会
13	11月3日	いながわまつり	かえっこバザール エコアクション宣言でエコの木を作ろう
14	11月5日	一庫ダム	行こう！フリマと一庫ダム見学へ
15	11月12日	とよのまつり	分別クレーンゲーム
16	11月18日	のせでんレールウェイフェスティバル 2017 秋	かえっこバザール
17	11月25日	イオン猪名川チアーズクラブ	紙すき体験と消しゴムはんこ
18	1月27日	ネイチャーランド KYOEI	庭に小鳥を呼ぼう～巣箱づくり教室～
19	3月24日	川西市キッズりぼん	パネル展示、バンダナ作り、かえっこ貸出
20	3月29日	のせでんごちマルシェ	かえっこバザール





情報発信

(ウ) 広める活動

広く情報発信し、広く交流する

他人事でなく自分事と気づいてもらい、主体的なエコアクション実施へ向けて、事業内容・成果など様々な情報を発信しました。参加型イベントを中心に、子どもから大人まで誰もが楽しく環境活動に取り組めるように様々な工夫をこらしました。家具やおもちゃなどのリユース事業により、モノを大事にする暮らし方の普及活動に努めました。催事日には無料シャトルバスを運行し、より多くの方にご利用いただけるように配慮しました。

ファミリーフリーマーケット (屋内)

年4回(6月・9月・12月・3月)に見学ロビー、通路、研修室を利用したフリーマーケットを実施し、モノを大事にする住民の交流の場を提供しました。

2017年度のフリーマーケット出店は 241店、来場者数 6,075名でした。

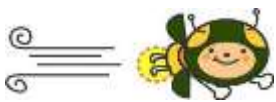
(2016年度 253店 来場者数 5,799名)



屋外フリーマーケット

5月と11月の催事に合わせて多目的広場を使用したフリーマーケットを実施し、モノを大事にする住民の交流の場を提供しました。2017年度の屋外フリーマーケット出店は31店。(2016年度48店)





広報の実施状況

① 新聞・情報誌・net への広報

地域情報誌	新聞	会員誌	ウェブサイト	FAX リリース	TV・ラジ オ	雑誌	総数
4	2	6	17	4	2	2	37

② ブログ（※月別の掲載数） <http://kuniccyume.exblog.jp/>

及び メールニュース(※月別の情報発信数)

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
ブログ	17	10	16	18	14	12	18	12	16	8	8	21	170
メールニュース	0	3	0	2	1	2	0	2	0	3	0	2	15

③ その他広報

その他、facebook 連動で講座案内・ごみ減量アイデア等の情報発信を行いました。また積極的なプレスリリースを行い様々なメディアでご紹介いただきました。



(エ) その他

① 地元中学校との連携

地域の中学校の秋の文化発表会に於ける、演劇発表用の舞台大道具の材料提供と制作指導を行いました。学校通信にも掲載されました。



学校通信掲載

② 利用者 20 万人達成

もっとも近い公共交通機関まで徒歩1時間程という立地にもかかわらず、開館6年目（平成26年9月）に利用者10万人を達成し、その後ほぼ3年間で20万人を達成しました。



③ 廃ガラスのアップサイクル講座が人気



ガラスであそぼう



お皿・小物



廃びんでスピーカー

④ 図書コーナーの充実

環境に関する基本図書や地域に関連した書籍等を増やしました。また、ブログでの新着図書のお知らせや蔵書のWEB検索も可能となり、利用者へのさらなるサービス向上に努めました。

図書コーナー利用実績	
蔵書冊数	3,012
貸出し数	122
利用者数	1,628

⑤ 地域貢献をめざす「環境情報センター」の活動について

環境啓発の原点に立ち戻り、地域に貢献する環境教育や環境学習についての研究をおこなう組織として、啓発研究組織「環境情報センター」の活動を継続しています。

「循環型社会形成」という本施設の目標に向けた道標と位置づけ、日頃ご指導をいただいている学識経験者の先生方をはじめ、地域のみなさまや職員に至るまで、ゆめほたるの啓発活動に関わる人々の知恵や経験を集成し、研究会や紀要の発行などを通して、今後の啓発活動に役立つ成果を探求しています。

● 客員研究員（※敬称略,登録順）

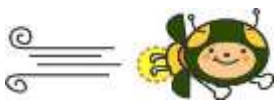
自然環境系	服部 保	(兵庫県立大学名誉教授)
	土川 忠浩	(兵庫県立大学教授)
	石田 弘明	(兵庫県立大学教授、兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)
	高柳 敦	(京都大学講師)
循環環境系	花嶋 温子	(大阪産業大学講師)
	前川 善一郎	(京都工芸繊維大学名誉教授・伝統みらい研究センター特任教授)
	永富 一之	(大阪教育大学教授)
文化環境系	坂本 信幸	(高岡市万葉歴史館館長、奈良女子大学名誉教授)
	影山 尚之	(武庫川女子大学教授)
	椿 昇	(京都造形芸術大学教授)

● 廃棄物資源循環学会・環境学習施設研究部会（通称・環境学習施設を考える会）事務局

より良い施設運営へ向けた活動として、全国の環境学習施設とも交流を図り、研修会等を実施しています。平成28年12月7日に設立した「環境学習施設を考える会」は、廃棄物資源循環学会の研究部会として承認され、学会の研究部会としての活動も開始しています。国崎クリーンセンター啓発施設・ゆめほたる「環境情報センター」はその事務局を担っています。

第28回 廃棄物資源循環学会研究発表会（東京工業大学・大岡山キャンパス）に於いて、展示及び環境フォーラムの実施。





⑥ クラブ活動支援

- ・ **里山クラブ木工班**：木工技術の向上のため、修理工房で月2回から3回程度実施。
- ・ **エコクッキングクラブ**：メニュー作り、買い物、調理法、片づけに至るまで、エコなクッキングを追及し、楽しむ活動を月1回ペースで実施しています。
- ・ **トンボ玉クラブ**：トンボ玉制作のスキルアップの他、廃ガラスを使ったトンボ玉制作にも取り組んでいます。
- ・ **里山わんだふるクラブ**：地域の住民が発起人となってできた愛犬家のクラブ。施設利用方法や飼い主のマナー研修等も実施しています。自然豊かな場所でのドッグランは大変人気があり、H29年度末時点での登録は136頭。経年による設備のメンテナンス作業等が増えてきているものの、クラブ員と協力して進め、ますます利用者が増えています。



⑦ コンテスト開催



4月～7月

環境イラストコンテスト／全応募作品の展示

⑧ 里山林維持管理事業の協力 [活動内容]

[活動内容]

- 活動期間：4月～3月
- 活動場所：自然学習ゾーン全域
- 内 容：安全点検、丸太階段補修、シカ柵補修、下刈り、障害木伐木、障害枝剪定、外来植物除去、倒木伐採撤去、枯木撤去処理、ヒノキ伐木、ヒノキなどの常緑樹伐木、穴開き箇所補修、エドヒガン維持管理（毎木調査、実生木伐採、被陰樹伐木）



[今後の課題]

- 自然学習ゾーンの安全点検強化。
- エドヒガン群落の生育環境保全。
- 鉱物採掘跡（坑道）の保全と、坑道内外に生息する動植物の保全・保護。
- シカ害などの獣害対策。
- ナラ枯れなどの病虫害対策。
- シカ不嗜好植物の外来植物繁茂抑制。
- 里山保全活動ボランティアの活動拠点開設へ向けた、倉庫棟ロビーの整備作業

⑨ 里山保全技術者養成講座の実施

里山の保全技術者を目指す人のための養成講座を実施し、新たに15名の里山保全技術者が誕生した。国崎クリーンセンターの里山保全技術者は第1期生と合わせて全28名となり、引き続き国崎クリーンセンターの里山保全活動に参加していただきます。

回	日程	内容	講師
1	10月7日(土)	開講式 基調講演	只木 良也(京都府立林業大学校)
		座学 安全講習	山本 博/NPO 日本森林ボランティア協会
2	10月28日(土)	座学 猪名川上流域の里山林 実習 植生調査	石田 弘明(兵庫県立大学教授)
3	11月11日(土)	座学 シカの被害から里山を守る	高柳 敦/京都大学
		実習 獣害柵の点検・補修	
4	11月18日(土)	座学 森林・林業の現状と人工林整備	NPO 法人日本森林ボランティア協会
		実習 森林整備	
5	12月2日(土)	講習 救急法	笹智子/NPO 法人日本森林ボランティア協会
		実習 里山林整備	山本博/ NPO 法人日本森林ボランティア協会
6	12月16日(土)	座学 ナラ枯れから里山を守る	小林正秀/京都府森林技術センター
OP	1月 6日~7(土日)	実習 チェーンソー講習会①②	NPO 法人日本森林ボランティア協会
7	1月20日(土)	実習 里山林・人工林除間伐	NPO 法人日本森林ボランティア協会
8	2月 3日(土)	実習 森林整備	NPO 法人日本森林ボランティア協会
9	2月17日(土)	座学 森林資源の利活用	山崎 正夫(もりの木プロジェクト) 渡邊 元(ゆめほたる木工講師)
		講習 ゆめほたるの利活用について	
		閉講式	
OP	3月17~18(土日)	里山ドローン講習会	



⑨ 里山保全委員会の開催

「里山林維持管理計画」及び「里山林整備構想計画(事業主体:猪名川上流広域ごみ処理施設組合)」に基づく里山保全の良好な活動を維持するため、当該指定管理事業の支援機能として有識者・研究者・教育関係者らによる「里山保全委員会」を設置しました。

➤ 12月13日 第1回 里山保全委員会実施

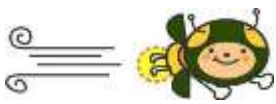
{里山保全委員}(※敬称略 平成29年度末現在)

◎服部 保(兵庫県立大学名誉教授)

上条隆雄(住友ゴム工業㈱企業の森づくりCSR担当)

山本 博(NPO 法人日本森林ボランティア協会)

森脇由佳(啓発施設職員 樹木医)



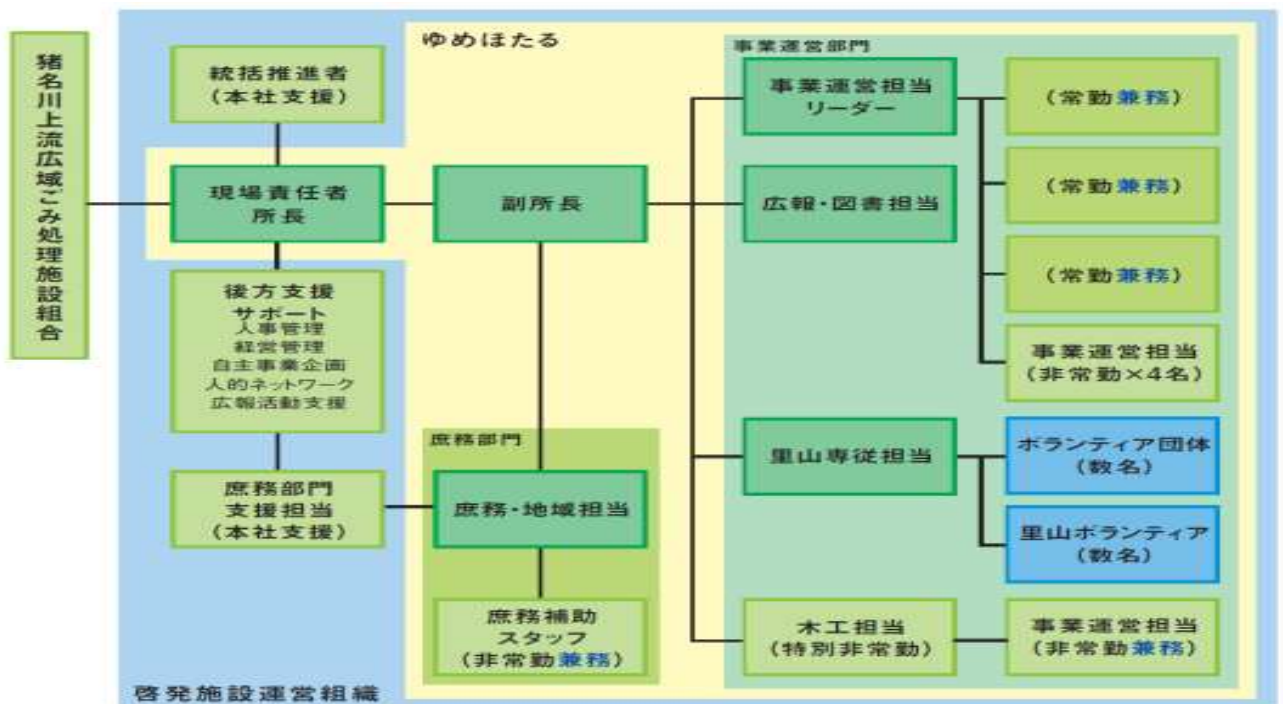
⑩ 里山林の保全におけるドローン活用

里山の維持管理において、ドローンの活用を始めました。ドローン活用により、里山の獣害・ナラ枯れ対策等の経年変化管理や危険個所の把握なども可能となり、里山保全委員会等でのアドバイスを受けながら、里山の防災対策に役立てようと考えています。



4. 事業運営体制

(ア) 平成 29 年度 運営体制の基本となる考え方



(イ) 職員のスキルアップ

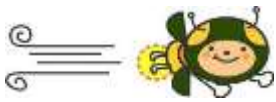
各種環境系の検定等を受験し、知識向上へ向けた努力を継続しています。

H29年度 ゆめほたる 環境系 検定等合格者一覧								
検定	H22年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合格累計	H29年度 合格在籍人数
エコ検定	6人	2人	1人	1人			10人	6人
3R・低炭素社会検定		2人	3人				5人	5人
環境カウンセラー			2人				2人	2人
環境社会保全士				1人			1人	1人
ふろしき包み結び指導者					1人		1人	1人
リユース販売士					1人		1人	1人
カラーコーディネーター3級					1人		1人	1人
家具製作技能士2級					1人		1人	1人
家具製作技能士1級						1人	1人	1人
罟猟狩猟免許					1人		1人	1人
ドローン検定3級						3人	3人	3人
ドローン検定2級						1人	1人	1人
ドローン検定1級						1人	1人	1人
こども環境管理士2級						1人	1人	1人
「エネルギー・環境マネジャー キャリア段位制度」 (国家戦略・プロフェッショナル検 定)	H22年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合格累計	H29年度 合格在籍人数
※レベル1				1人			1人	1人
※レベル2				1人	2人		3人	3人
※レベル4				1人	1人		2人	2人

※「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」(国家戦略・プロフェッショナル検定)

(ウ) スタッフ研修

- 視察・研修：38回、延50名
- 研究会参加：13回、延17名



5. 見学・貸館状況

(ア) 見学・出前での利用状況

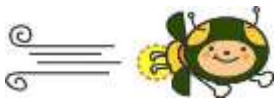
月	総利用者数	見学 出前	各室利用	備考
4月	2,958	2,548	410	地域催事への出前、各団体見学
5月	3,366	2,260	1,106	小学校・地域の団体見学、催事
6月	3,885	2,012	1,873	小学校・行政等団体見学、催事
7月	1,682	766	916	小学校・地域の団体見学、出前
8月	2,773	1,699	1,074	地域の団体見学、各種ワークショップ開催
9月	6,865	4,956	1,909	小学校・行政等団体見学、出前、催事
10月	1,812	867	945	小学校・行政等団体見学、出前
11月	4,682	3,205	1,477	もったいないフェスタ、地域催事への出前
12月	2,414	1,079	1,335	催事・行政等団体見学
1月	501	218	283	各種ワークショップ開催
2月	634	378	256	各種ワークショップ開催・行政等団体見学
3月	3,301	1,696	1,605	催事・各種ワークショップ開催
平成29年度	34,873	21,684	13,189	(単位:人)
前年度比	100.5%	106.6%	91.9%	

(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)

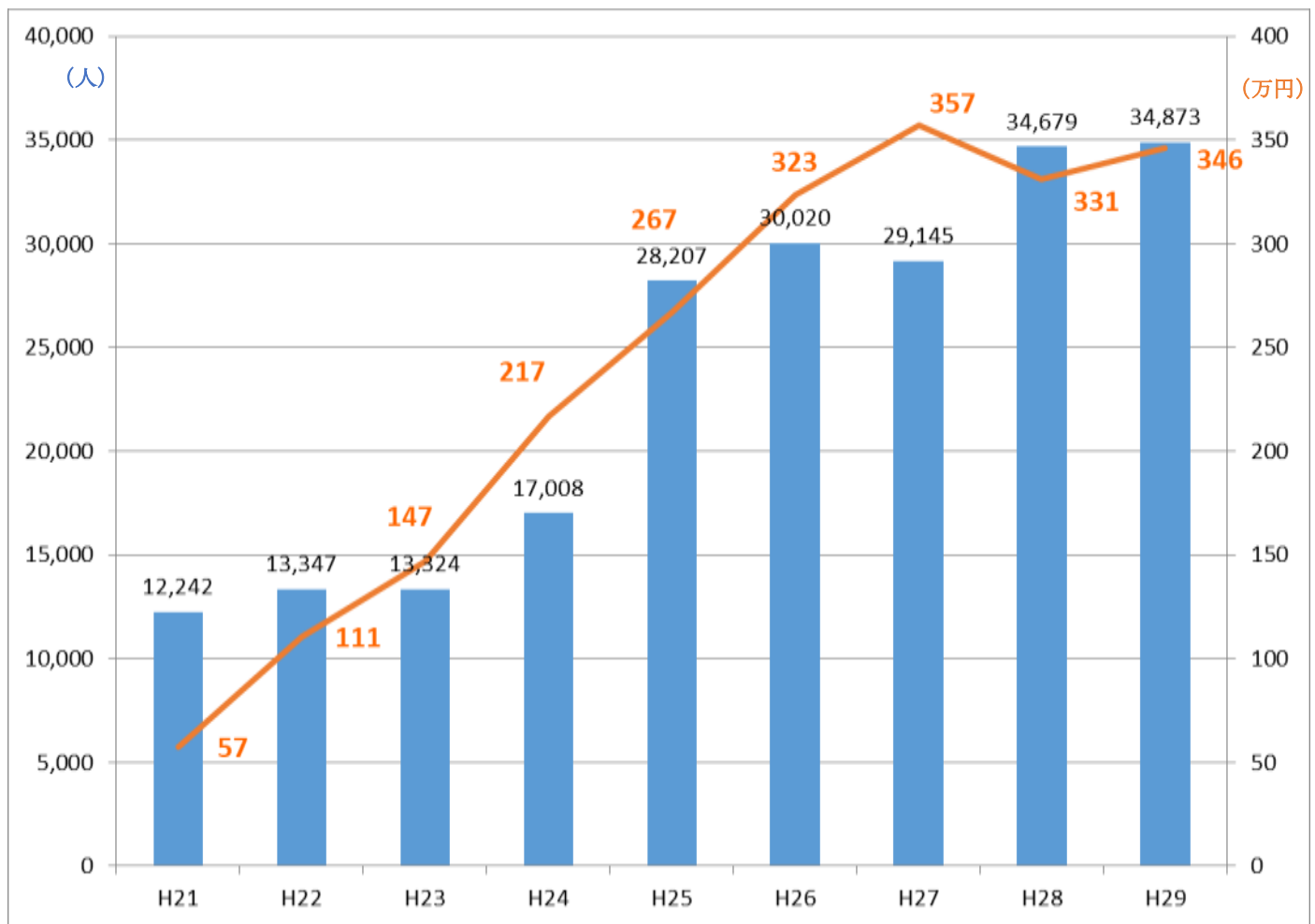
施設名称	利用回数 (件数)	利用者数 (人)	おもな利用
研修室	105	6,719	講演会、フリーマーケット会場、各種講座
軽作業室	68	1,299	講座・ワークショップ、クラブ活動等
制作工房	105	1,428	講座・ワークショップ、クラブ活動等
修理工房	125	1,638	講座・ワークショップ、クラブ活動等
講座室	18	381	川西市出前講座、講師控室、会議
視聴覚室	9	39	視察対応、救命講座、会議
会議室	23	385	リユース家具内覧、抽選会
多目的広場	46	5,130	催事、少年サッカー、少年ラグビー
ドッグラン広場	199	908	里山ドッグラン広場利用 わんだふるクラブ活動
合計	698	17,927	
前年度比	103.8%	99%	

* 行政視察等で施設組合が利用した回数と人数を含みます。

* 1 団体が同日に複数の施設を利用した場合は、施設毎に回数と人数を計上しています。



6. 9年間の人数・売上の推移



折れ線：売上推移（万円）

棒：利用人数推移（人）

7. 収支状況

国崎クリーンセンター啓発施設運営指定管理事業の実施に係わる収支状況（平成 29 年度）			
収 入(円)		支 出(円)	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料	66,941,630	人件費	38,757,159
講座・講演会参加費等	2,456,850	事務費	3,999,181
雑収入	1,002,632	物件費	1,762,038
		管理費	5,118,223
		事業関連費	9,776,324
		一般管理費	5,773,290
		中計(支出総合計)	65,186,215
		消費税	5,214,897
合 計	70,401,112	合 計	70,401,112